

八丈町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
進捗状況報告書  
【令和4年度】

令和5年10月  
八 丈 町

# 目 次

1	総合戦略進捗状況報告について	1
2	総合戦略の基本目標・具体的施策	2
3	総合戦略の進捗状況	
1-1-1	新規就農者支援・確保事業	3
1-1-2	漁業担い手確保・雇用促進事業	4
1-1-3	農地流動化の促進	4
1-1-4	八丈町農業生産額の増加	5
1-1-5	島食材の学校給食への活用事業	5
1-2-1	黄八丈織物の後継者確保・育成	6
1-2-2	黄八丈織物の販売促進・認知向上	6
1-3-1	スポーツ合宿誘致事業	7
1-3-2	観光イベントによる観光振興・地域活性化事業	7
1-3-3	団体集客事業	8
1-3-4	文化財保全・活用計画の策定	8
2-1-1	八丈島おしごと掲示板(WEB)	9
2-2-1	移住定住に関する情報発信	10
2-2-2	移住相談	10
2-2-3	地域おこし協力隊の導入	11
3-1-1	婚活事業	12
3-2-1	妊婦・乳幼児・歯科健康診査の実施	12
3-2-2	出産・子育て関連支給事業	13
3-2-3	保育所待機児童ゼロを目指す(待機児童ゼロの維持)	13
3-2-4	子ども家庭支援センターの利用拡大	14
3-3-1	学力向上事業	14～15
3-3-2	町立図書館の充実	16
4-1-1	活力ある地域社会の形成	17
4-1-2	ごみ減量化と資源化推進等	17～18
4-1-3	末吉多目的交流施設活用事業	18
4-2-1	災害に強いまちづくり事業	19
4-2-2	介護人材確保事業	19～20
4-2-3	認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	20
4-2-4	高齢者がいきいきと暮らす地域づくり	21
4-2-5	八丈町がん検診受診勧奨事業	22
4-2-6	モバイルBU・S・PAの普及促進	23

# 1 総合戦略進捗状況報告について

## (1) 目的

本報告書は「八丈町人口ビジョン」の実現に向け、各種施策を推進してきた「八丈町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に対する総括的な評価を行うことを目的としています。

## (2) 総合戦略の進行管理

総合戦略は、上位計画である基本構想・基本計画を踏まえながら、特に人口減少・少子高齢化に対応する取組を具体化し実施していくためのものであり、八丈町の目指すべき将来の方向を踏まえ、政策分野ごとに4つの「基本目標」さらに基本目標ごとに実施すべき施策を「具体的施策」と位置づけ、それぞれの具体的施策に重要業績評価指標(KPI：Key Performance Indicator)を設定し、これらを目安として進捗率を管理しています。

## (3) 総合戦略の評価

具体的施策に設定したKPIの達成状況を評価し、評価にあたっては、各KPIについて5段階の評価基準を設け点数化しています。

### 【達成度の評価区分】

- 5：現時点で目標を大きく超えた成果が表れている。
- 4：現時点で目標を達成している。
- 3：現時点で目標を達成していないが、令和2年度の状況に比べ成果がみられる。
- 2：現時点で目標を達成しておらず、令和2年度の状況から変化がみられない。
- 1：現時点で目標を達成しておらず、令和2年度の状況を下回ってしまっている。

## 2 総合戦略の基本目標・具体的施策

### (1) 基本目標

基本目標	横断的な目標	
1.産業振興による安定した雇用の創出	1.多様な人材が活躍する地域社会の形成	2.地域における新技術の活用・持続可能なまちづくりの推進
2.定住促進・島外からの移住受入推進		
3.若い世代の結婚・出産・子育ての支援		
4.活力のある安心・安全な地域社会の形成		

### (2) 具体的施策と体系図

基本目標	施策の方向性	具体的な施策	担当課・係	
1 産業振興による安定した雇用の創出	1-1 農林水産業の振興	1-1-1 新規就農者支援・確保事業	産業観光課産業係	
		1-1-2 漁業担い手確保・雇用促進事業	産業観光課水産商工係	
		1-1-3 農地流動化の促進	産業観光課産業係	
		1-1-4 八丈町農業生産額の増加	産業観光課産業係	
		1-1-5 島食材の学校給食への活用事業	教育課庶務係	
	1-2 中小企業の振興	1-2-1 黄八丈織物の後継者確保・育成	産業観光課水産商工係	
		1-2-2 黄八丈織物の販売促進・認知向上	産業観光課水産商工係	
	1-3 観光産業の強化	1-3-1 スポーツ合宿誘致事業	産業観光課観光係	
		1-3-2 観光イベントによる観光振興・地域活性化事業	産業観光課観光係	
		1-3-3 団体集客事業	産業観光課観光係	
1-3-4 文化財保全・活用計画の策定		教育課生涯学習係		
2 定住促進・島外からの移住受入推進	2-1 定住・定着への支援	2-1-1 八丈島おしごと掲示板 (Web)	企画財政課企画情報係	
		2-2 移住の受入支援	2-2-1 移住定住に関する情報発信 2-2-2 移住相談 2-2-3 地域おこし協力隊の導入	企画財政課企画情報係 企画財政課企画情報係 企画財政課企画情報係
	3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援	3-1 若い世代の結婚支援	3-1-1 婚活事業	産業観光課水産商工係
		3-2 子育てしやすい環境づくり	3-2-1 妊婦・乳幼児・歯科健康診査の実施	福祉保健課保健係
			3-2-2 出産・子育て関連支給事業	福祉保健課厚生係
3-2-3 保育所待機児童ゼロを目指す (待機児童ゼロの維持)			福祉保健課厚生係	
3-2-4 子ども家庭支援センターの利用拡大			福祉保健課厚生係	
3-3 次代を担う子どもたちの教育の充実		3-3-1 学力向上事業	教育課庶務係	
	3-3-2 町立図書館の充実	教育課生涯学習係		
4 活力のある安心・安全な地域社会の形成	4-1 暮らしやすいまちづくりの推進	4-1-1 活力ある地域社会の形成	総務課庶務係	
		4-1-2 ごみ減量化と資源化推進等	住民課環境係	
		4-1-3 末吉多目的交流施設活用事業	企画財政課企画情報係	
	4-2 安心して暮らせる地域づくり	4-2-1 災害に強いまちづくり事業	総務課庶務係	
		4-2-2 介護人材確保事業	福祉健康課高齢福祉係	
		4-2-3 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	福祉健康課高齢福祉係	
		4-2-4 高齢者がいきいきと暮らす地域づくり	福祉健康課高齢福祉係	
4-2-5 八丈町がん検診受診勧奨事業	福祉健康課保健係			
4-2-6 モバイルBU・S・PAの普及促進	企業課運輸係			

### 3 総合戦略の進捗状況

#### 1 産業振興による安定した雇用の創出

本町では、第1次産業（農業・漁業）及び第3次産業（観光）を基幹産業としています。第1次産業においては、鳥しょ部の特産品である花き類の生産やキンメダイの漁獲が盛んとなっていますが、農業・漁業ともに就業者の減少が顕著になっています。また、観光業においては、アフターコロナの中で、観光を取り巻く環境が大きく変化しています。

これらを鑑み、若い世代や転入希望者にとって魅力的なしごとの場を創出するため、特産品の生産性向上や販路拡大に向けた施策の実施、団体客誘致等のための情報発信に取り組み、産業の収益安定化や競争力の強化を図ります。

特に、深刻化する担い手不足解消のため、新規就労者の支援や人材育成等の「人づくり」を推進します。

##### 1-1 農林水産業の振興

本町の基幹産業である農林水産業の振興のため、八丈町の資源や特産品を最大限活用し、雇用対策・人材育成等に取り組むとともに、ICTを活用した第1次産業の生産性の向上や高付加価値化による競争力の強化を図ります。

##### 1-1-1 新規就農者支援・確保事業【累計】

・島外で開催している農業就業者募集イベント等による情報発信を積極的に行います。

・農林水産振興財団と連携し、本町独自の手法で農業体験事業に取り組みます。

・国や東京都の補助事業を活用しながら、八丈町農業担い手育成研修センターを拡充し、就農希望者の受入体制の向上に努めます。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
新規就農者数	29 名	9 名	(10) 19 名	(13) 32 名			
進捗率			65.5 %	110.3 %			
主管課評価	研修センターでは4期生の2経営体が研修修了となり7期生を迎え順調に新規就農者を輩出している。また、研修センター以外でも、就農希望者を常時受け入れる事ができる体制の構築が出来ており農業体験、農業研修制度を最大限活用している。「農活」による情報発信を強化したことで、島外の新規就農者も増加傾向にある。KPIの見直しとして、単年度ごとの評価、検証、改善を行うため「累計」ではなく「年間」の目標設定とし、目標値を年間4名とする。						
達成度	5	※目標値は累計で、カッコ内の数字は各年度の実績数					

##### 1-1-2 漁業担い手確保・雇用促進事業【年間】

・漁業担い手確保協議会を設置し、漁業就業に関する情報を提供して、新規就業者の確保に努めます。

・島外で開催している漁業就業者募集イベントに参加し、就業者増加に向けた支援を行います。

・就業決定時には町営住宅の照会サポートを行います。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
新規就業者数	2 名	1 名	1 名	0 名			
進捗率			50.0 %	0.0 %			
主管課評価	東京都鳥しょ振興公社が実施している八丈島漁業就業体験で年間1～2名の新規就業者を確保してきたが、令和4年度は応募件数が少なく0名の結果となっている。新規の漁業就業者は、0名であったが、研修受入は継続して実施できており、今後の漁業就業へ繋がるものとする。令和5年度も予定通り就業体験を実施し1～2名の確保を目指す。						
達成度	2						

##### 1-1-3 農地流動化の促進【累計】

・農地仲介制度等に取り組むことで農地流動化を促進し、効率的かつ安定的な農業経営の育成を図ります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
農地流動化面積	35 ha	10 ha	(15) 25 ha	(16) 41 ha			
進捗率			71.4 %	117.1 %			
主管課評価	令和3・4年度の合計で農地の流動化（売買・賃借）の面積は利用権設定、中間管理事業、農地法3条により合計31haの流動化が図れた。今後は流動化に関する制度改正等もあるが、町独自の農地仲介制度（農地バンク）との連携による流動化を推進し更なる農地流動化を推進する。KPIの見直しとして、八丈町農業委員会の「最適化活動の目標の設定等」ともリンクして実施する必要があることから「累計」ではなく「年間」での目標設定とし、年間5haとする。						
達成度	5	※目標値は累計で、カッコ内の数字は各年度の実績数					

### 1-1-4 八丈町農業生産額の維持 [累計]

・花き切葉のブランド化等の各種事業をバランスよく実施し、八丈町農業生産額の維持を目指します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
八丈町農業生産額	108.0 億円	18.0 億円	(20.7) 38.7 億円	集集中			
進捗率			35.8 %				
主管課評価	令和2年度はコロナ禍の影響もあり、切葉類・野菜類の販売額が落ち込み農産物全体の生産額が減少したが、令和3年度になり生産単価が上がり生産額も戻りつつある状況である。生産額の維持は、「新規就農者支援・確保事業」並びに「農地流動化の促進」の効果が表れており、東京都農業会議の調査では『切葉生産日本一の島』となっている。今後は、花卉園芸に関する市場の動向等を注視しながら、農業生産額都内1位を目標にした『切葉生産日本一の島』としての販売促進事業等により、更なる生産額の増加を目指す。KPIの見直しとして、単年度ベースでの評価、検証、改善を行っていくため「累計」ではなく「年間」での目標設定とする。現在の目標値を平均し、年間18億円とする。						
達成度	4	※目標値は累計で、カッコ内の数字は各年度の実績数					

### 1-1-5 島食材の学校給食への活用事業 [年間]

・地元生産者と関係機関の連携を強化し、島の食材を取り入れた安心安全な給食を提供することで地産地消率の向上を図り、子供たちの健全育成への貢献と生産者の収益確保を目指します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
地産地消率(金額ベース)	16.0 %	14.2 %	10.4 %	10.8 %			
進捗率			65.0 %	67.5 %			
主管課評価	地産地消率の算出方法が明示化され米等の品目を含める必要が出たこと、みそ汁の出汁(ムロブシ削り)として使用していた地場産物が不漁により令和3年度1月から使用できなくなった影響を受け、地産地消率は大幅に下がっている。令和4年度は、不漁等による影響で地場産物の確保が難しい面もあったが、新たな地場産物を使用することで食材が高騰する中でも地産地消率を前年度より増加させることができた。今後も不漁等による影響が考えられるが、地産地消率を上げられるよう新たな地場産物や既存の地場産物の献立開発を続けていく。KPIの見直しとして、算出方法の明確化に合わせ、目標値も米等の品目を含めた数値の11%とし実績値も修正する。						
達成度	1						

## 1-2 中小企業の振興

本町の伝統工芸品である黄八丈織物について、高齢化による後継者不足を解消し、技術の保護に努めます。また、ブランド化やPR活動に取り組み、黄八丈織物の認知及び収益性の向上を目指します。

### 1-2-1 黄八丈織物の後継者確保・育成 [年間]

新規従事者の確保と人材育成に取り組むことで、伝統工芸品である黄八丈織物の技術を保存するとともに、高齢化による担い手不足を解消します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
新規従事者数	2 名	1 名	1 名	0 名			
進捗率			50.0 %	0.0 %			
主管課評価	令和4年度は0名の結果となってしまったが、令和5年度には、黄八丈組合によると1名確保できる見込みがあるとのことなので、引き続き人材確保できるよう取り組んでいく。今後は、人数だけではなく生産力の維持・向上を目標値に加味できるように検討していく。						
達成度	1						

### 1-2-2 黄八丈織物の販売促進・認知向上 [年間]

・黄八丈織物のブランディング戦略策定や各展示会への参加等島外PRに取り組むことで、黄八丈の認知度向上を目指します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
黄八丈織物の販売額	47,000 千円	46,789 千円	54,965 千円	50,876 千円			
進捗率			116.9 %	108.2 %			
主管課評価	令和2年度はコロナ禍の影響もあり販売額が落ち込んでいたが、令和3・4年度には持ち直し、目標額の4,700千円を上回ることができた。令和5年度についても島外PR等に取り組み、更なる販売額の向上を目指す。また、物価上昇による販売額の上昇分を今後の目標設定に加味していく。						
達成度	5						

### 1-3 観光産業の強化

観光産業の振興のため、スポーツ合宿誘致や観光イベント等を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症を受けた新しい生活様式やMICEを念頭に置いた取組を行い、交流人口の維持・増加を目指します。また、島内の移動手段、自然環境や文化財の観光資源としての活用により、魅力的な観光地を目指します。

#### 1-3-1 スポーツ合宿誘致事業 [年間]

観光誘致策として、スポーツ合宿の情報発信としてSNS(Facebook)を活用し、観光振興を図ります。

野球、サッカーの他、既存の施設(南原スポーツ公園、富士グラウンド、学校体育館等)を活用し、様々な種目のスポーツ合宿をサポートすることで関係人口の拡大を図ります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
スポーツ合宿誘致数	13 団体	3 団体	3 団体	7 団体			
進捗率			23.1 %	53.8 %			
主管課評価	コロナ禍の影響と、飛行機などの交通手段の予約方法の変化により苦戦しているが、少しずつ目標値に近づいている。令和4年度の7件中3件が新規での実施であり、コロナ禍前に合宿を実施した団体から再開希望の相談が入っている状況もあり、引き続き目標達成に向け事業に取り組む。次期計画策定時におけるKPIの設定については、実施率、行政の関与度合、旅行単価の増減、島内消費額などの成果を総合的に勘案し、事業の完成度を高める必要がある。そのためKPIの見直しも連動して行う。						
達成度	3						

#### 1-3-2 観光イベントによる観光振興・地域活性化事業 [年間]

町民や関係団体と協働した観光イベント開催を推進し、地域の活性化を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策として、可能なものはオンライン大会を実施します。※令和3年度

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
主要イベント参加者数	5,800 人	564 人	4,985 人	7,900 人			
進捗率			85.9 %	136.2 %			
主管課評価	令和3年度はコロナ禍の影響もあり目標値を下回ったが、令和4年度では国や都の支援事業の効果もあるが、地方創生交付金のクーポン事業に取組み、目標値を大きく上回る成果を上げることができた。						
達成度	5						

#### 1-3-3 団体集客事業 [年間]

団体観光誘致策として、団体ツアー（10名以上）を実施する事業者に対し、貸切バス使用料の一部補助等の支援を行います。

地方空港からのチャーター便を誘致し、団体ツアー数の増加を図ります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
団体ツアー補助実績数	280 ツアー	121 ツアー	144 ツアー	322 ツアー			
進捗率			51.4 %	115.0 %			
主管課評価	令和3年度はコロナ禍の影響もあり目標値を下回ったが、令和4年度は令和3年度からほぼ倍の実績を計上することができた。コロナ禍前は国外旅行志向が高まっている状況であったが、コロナ禍により国外旅行への流出が止まり、国内旅行の需要が高まったことが主な要因と考える。						
達成度	4						

#### 1-3-4 文化財保全・活用計画の策定 [年間]

文化財保全と活用を行うための計画を策定します。

保全と活用と並行して文化財データベース公開等の情報発信を行うことで、島内外の人々に島の良さを認知させ、地域の活性化と交流人口の増加につなげます。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
歴史民俗資料館来館者数に占める旅行者の割合	85.0 %	80.9 %	79.1 %	83.0 %			
進捗率			93.1 %	97.6 %			
主管課評価	令和3年上半期はコロナ禍の影響のため、臨時休館を余儀なくされた。また、感染症対策として外出自粛等の行動制限により、来館者および旅行者の数が令和2年度同様に減少した。しかしながら来館者数に占める旅行者の割合は微減した程度に留まっており、令和4年度は来館者の数も前年度比で約290%、旅行者の割合も約4%増となり目標値に近づく結果となった。 今後も全国的な旅行者増を見込み、八丈町の観光産業の一助となるよう魅力的な施設運営を目指していく。						
達成度	3						

## 2 定住促進・島外からの移住受入推進

本町では、平成24年から転入が減少傾向となっており、平成28年から転出超過が続いています。活力ある地域形成を図るため、島の暮らしやしごと情報を発信することで、特に大学進学等で転出した若い世代や専門技術を持った労働人材の移住を促進します。また、観光産業による交流人口の拡大が難しいことから、本町への新しい人の流れをつくるため、関係人口の創出に取り組みます。

### 2-1 定住・定着への支援

転出超過が顕著であることから、しごとの魅力や求人等の情報発信を行うことで定住・定着を図ります。

#### 2-1-1 八丈島おしごと掲示板(WEB) [年間]

・島内の安定した雇用環境の形成による定住・定着の推進を目的に、求人情報を募集しWebへ掲載します。

・掲載終了時に採用状況について調査を行うとともに、再掲載もしくは新規掲載をご案内します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
八丈島おしごと掲示板(WEB)による採用件数	5 件	0 件	5 件	13 件			
進捗率			100.0 %	260.0 %			
主管課評価	令和3年度にオンライン申請を整備してから申請数が伸び始め令和4年度の申請件数は延べ67件となり、採用数も令和3年度に比べ2倍以上となった。これは窓口へ赴くことなくいつでも申請できる利便性により申請者のハードルが下がったこと、掲載件数が増えたことによる閲覧者への認知度上昇が原因として考えられる。また、定住支援金の必要事項であることも影響している。今後は採用者報告の仕組みも整備することで情報の精度向上に努めたい。						
達成度	5						

### 2-2 移住の受入支援

ICTを活用し、島での暮らしや住まい等の情報発信を行うとともに、移住希望者からの相談を受け付けることで移住促進を図ります。また、地域おこし協力隊を採用し、地域協力活動による活性化を図るとともに、本町への移住・定住を目指します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によるリモートワーク需要拡大を受けたワーケーションやサテライトオフィス等の長期滞在に資する取組を検討し、将来的な移住に繋がります。

#### 2-2-1 移住定住に関する情報発信 [年間]

・Webサイトや動画コンテンツを活用し、移住定住希望者のニーズに沿った目的別の情報提供を行うことで、本町への移住者増加を図ります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
移住相談者における移住定住サイト閲覧数	20 件	3 件	20 件	704 件			
進捗率			100.0 %	3,520.0 %			
主管課評価	令和4年度に移住に関する情報をまとめた「八丈物語」を町公式HP内に開設した。閲覧数はトップページ10,000件強で第3章「相談」ページの閲覧数が704件となる。今後は、制度や事業、取組等と併せながら八丈物語の内容充実を図り、最終的な目的となる移住者の増へと繋げる。KPIの見直しとして、八丈物語の閲覧数を目標値とすることにより、情報発信力と内容充実の強化状況が計れるように改善を図る。						
達成度	5						

#### 2-2-2 移住相談 [年間]

・移住や島暮らしについて、随時相談を受け付けます。

・相談者へ提供する移住ガイドブックの内容を適宜更新します。

・空き家利活用を目的として実態調査を行い、移住希望者へ有用な情報を提供する仕組みを検討し、定住促進に繋がります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
移住相談者のうち、実際に移住した件数	10 件	5 件	13 件	283 件			
進捗率			130.0 %	2,830.0 %			
主管課評価	令和4年度に「八丈物語」を開設し移住情報提供のオートメーション化を図り、メールや電話等での問合せや相談が大きく増加し、令和4年度では社会増減数が増に転じている。今後の取り組みとして、具体的な直接相談ができる体制、空き家の利活用の仕組み等を地域おこし協力隊とともに検討・整備し「定住」に重きを置いた「訪れたい町」から「住みたい町」への変容に総合的に取り組む。KPIの見直しとして、官公庁を除く転入者数を目標値とする。						
達成度	5						



### 2-2-3 地域おこし協力隊の導入 [累計]

- ・地域おこし支援、移住者受入支援、地域協力活動を行う地域おこし協力隊員3名を委嘱します。
- ・八丈町への移住・定住を目的とし、地域おこし協力隊員へのサポートを検討します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
地域おこし協力隊任期終了後の定住人数	4名	1名	(2) 3名	(0) 3名			
進捗率			75.0%	75.0%			
主管課評価	八丈町では、制度導入から一貫してミッション型での隊員募集を行っており、各々の経験なども活かしながら、設定した町の課題へ取り組んでいる。直近では令和4年4月に1名着任、令和5年4月、5月に1名ずつ着任し、令和5年6月現在では4人体制となった。これまで任期満了は4名、そのうち3名が引き続き八丈島に住む状況（75%）となり、これは全国平均65%（総務省調べ）より高い値となっている。引き続き任期満了後の定住を念頭に置きながら、町の課題解決に適した人材を採用していく。KPIの見直しとして、隊員の採用人数を目標値とする。						
達成度	4	※目標値は累計で、カッコ内の数字は各年度の実績数					

## 3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援

若者の多くは、結婚・出産・子育てを含む人生への夢を持っています。若い世代の出会い・ふれあいの場として婚活事業を行い、結婚を支援します。また、出生率の維持・向上、核家族化、地域関係の希薄化、女性の就労率向上による保育ニーズ等に対応し、安心して子どもを産み育て、子どもと親と一緒に成長するための環境を整備し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない、きめ細かい事業を展開します。教育分野では、次世代を担っていく上で必要となる基礎的・基本的な学力や多様で豊かな個性・想像力等の定着・向上を目指し、環境整備や個別最適化された学びの提供を行います。

### 3-1 若い世代の結婚支援

未婚者が抱える早期結婚への望みを叶えるべく、婚活事業を主催し島内・島外の未婚者が会おう場を提供します。また結婚を契機とした本町への移住・定住者の獲得を目指します。

#### 3-1-1 婚活事業 [累計]

- ・八丈島に嫁ぎたい島外独身女性を招き、島内独身女性も交え、島内独身男性との「出会い・ふれあいの場」を設け、若い世代の結婚を支援します。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大による「新しい生活様式」への対応として、オンライン婚活等の実施を検討します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
カップル成立数	10組	0組	(0) 0組 中止	(0) 0組 中止			
進捗率			0.0%	0.0%			
主管課評価	令和3・4年度ともにコロナ禍の影響で婚活事業が中止となる。オンラインでの開催は、検討段階で実施にまで至らなかった。令和5年度は9月に開催予定となっている。						
達成度	1	※目標値は累計で、カッコ内の数字は各年度の実績数					

### 3-2 子育てしやすい環境づくり

出生率の維持・向上に向けて、出産・子育てに関する金銭的支援及び医療サービス・子育て支援サービスの拡充・提供に取り組みます。また社会全体で子育てに協力できる地域づくりを推進します。

#### 3-2-1 妊婦・乳幼児・歯科健康診査の実施 [年間]

- ・妊婦健康診査、乳幼児健康診査を実施し、ブックスタート事業にも取り組むことで健やかな子どもの成長を支援します。
- ・幼児に対する歯科健康診査として歯の状態の把握、歯ブラシ指導を実施します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
妊婦健診・乳幼児健康診査の満足度	80.0%	満足度調査未実施	満足度調査未実施	満足度調査未実施			
進捗率			0.0%	0.0%			
う蝕者率	8.0%未満	10.0%	4.3%	5.8%			
進捗率			186.0%	137.9%			
主管課評価	妊婦・乳幼児健診は、当町において全対象が受診されている貴重な事業であることから、母子保健計画の策定に向けて調査を令和5年度より実施する。 幼児歯科検診は1～4歳対象に5回実施、歯科相談無料券を配布している。う蝕率は20年前の50%が10年で23%、更にこの10年で10%を切るまでに改善している。今後も、う蝕率8%未満の維持に向け、歯磨きの重要性、予防的ケアのための幼児期からの歯科への定期的通院等、生涯続く歯のための良い習慣づくりの基礎を意識付けできるよう、相談指導を徹底していく。						
達成度	1						

### 3-2-2 出産・子育て関連支給事業 [年間]

- ・出産祝金を支給し、合計特殊出生率の維持・向上や定住促進を図ります。
- ・支給の自宅訪問時に保健師による母子の健康状態の確認を行い、子育ての不安や相談に応じることで児童福祉の増進を図ります。
- ・とうきょうママパパ応援事業を活用し、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を提供します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
受給者の満足度	90.0 %	満足度調査未実施	満足度調査未実施	満足度調査未実施			
進捗率			0.0 %	0.0 %			
主管課評価	出産祝金の受給者数は35件となり、対前年度比6件減となる。今後も令和7年度までに合計特殊出生率2.06と出生率の向上に向けて若い世代の結婚・出産・子育て支援を継続し、人口の減少抑制・安定化に取り組む。KPIの見直しとして出生数を目標値とする。						
達成度	1						

### 3-2-3 保育所待機児童ゼロを目指す(待機児童ゼロの維持) [年間]

- ・民間人材紹介企業を活用した保育士募集の拡大、再雇用支援・臨時雇用者の正式採用促進や町の補助制度を活用し人員確保に努め、保育所待機児童ゼロを目指すための体制を整備します。
- ・同一世帯のきょうだい児が同時期に入園している場合は、保育料を減免し、多子世帯の経済的負担を軽減します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
待機児童数(4/1現在)	0 名	6 名	5 名	0 名	2 名		
入園児童数(4/1現在)			227 名	215 名	213 名		
進捗率			97.8 %	100.0 %	99.1 %		
主管課評価	未満児保育のニーズが増えており、保育士の退職等による慢性的な人材不足から受入れ体制が確保できず、令和5年度当初で2名の待機児童が発生している。年度途中からの転入による新規申込や入園できる月齢に達した児童の申込みが見込まれ、待機児童は当初より増えると推測される。このため保育士募集による人材確保が急務となる。						
達成度	3						

### 3-2-4 子ども家庭支援センターの利用拡大 [年間]

- ・0歳から未就学児の子どもと親を対象に交流の場を提供し、子育て情報の提供や一時預かり事業等を行います。
- ・子育て世代包括支援センターとの連携を図り、子どもや子育て家庭の抱える不安や悩みの相談に応じ、子育て家庭の孤立の防止や、社会全体で子育てに協力できる地域づくりを進めます。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
利用者満足度	90.0 %	満足度調査未実施	満足度調査未実施	満足度調査未実施			
進捗率			0.0 %	0.0 %			
主管課評価	コロナ過の影響で減少していた一時預かりの利用者は、当年度より回復傾向にあり、1,051人と対前年比308人増となる。今後も利用者の増加が見込まれるため、対応職員の確保に努めていく。KPIの見直しとして利用者数を目標値とする。						
達成度	1						

### 3-3 次世代を担う子どもたちの教育の充実

基礎的・基本的な学力や多様で豊かな個性・想像力等の定着・向上を目指し、環境整備や個別最適化された学びを提供します。またGIGAスクール構想の実現を推進します。

#### 3-3-1 学力向上事業 [年間]

・教員の加配等により少人数クラスでの授業等を実施することで、基本的な学力をしっかりと身に付けられるよう、学力向上を目指した教育を推進します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
八丈町小学生平均点《国語》	全国平均点以上	中止(コロナ)	54.0 点	61.7 点			
全国小学生平均点《国語》			64.7 点	65.6 点			
進捗率			83.5 %	94.1 %			
八丈町小学生平均点《算数》	全国平均点以上	中止(コロナ)	66.0 点	61.7 点			
全国小学生平均点《算数》			70.2 点	63.2 点			
進捗率			94.0 %	97.6 %			
八丈町小学生平均点《理科》	全国平均点以上	中止(コロナ)	調査なし	63.0 点			
全国小学生平均点《理科》		63.3 点					
進捗率		99.5 %					
八丈町中学生平均点《国語》	全国平均点以上	中止(コロナ)	75.0 点	70.3 点			
全国中学生平均点《国語》			64.6 点	69.0 点			
進捗率			116.1 %	101.9 %			
八丈町中学生平均点《数学》	全国平均点以上	中止(コロナ)	65.0 点	46.0 点			
全国中学生平均点《数学》			57.2 点	51.4 点			
進捗率			113.6 %	89.5 %			
八丈町中学生平均点《理科》	全国平均点以上	中止(コロナ)	調査なし	53.0 点			
全国中学生平均点《理科》		49.3 点					
進捗率		107.5 %					
八丈町中学生平均点《英語》	全国平均点以上	中止(コロナ)	調査なし	調査なし			
全国中学生平均点《英語》							
進捗率							
主管課評価	小学校は目標到達できていない。八丈町立学校の特徴として「学力の学年格差」があり、単年度での学力向上検証は難しい。しかし、中学校になると全国平均を上回ってくる傾向があり「学びに向かう力」は着実に育成されていると考えられる。GIGAスクール構想によりICT機器を導入して2年経過するが、ICT機器を駆使した視覚的・多角的な授業も浸透しつつあるので、今後の学力向上に期待したい。						
達成度	4						

#### 3-3-2 町立図書館の充実 [年間]

・子どもの読書活動を推進するために、図書館機能の強化や施設の整備を進めます。「本に出会い、本を知る」、「本に親しみ、本を生かす」、「本と生き、本を伝える」ことができるように、読書活動、レファレンス業務を推進します。

・「第3次八丈町子供読書活動推進計画」の策定に取り組みます。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
利用者数	8,000 人	8,303 人	6,537 人	9,141 人			
進捗率			81.7 %	114.3 %			
主管課評価	令和3年上半年はコロナ禍の影響により長期休館した。開館時も入館制限を実施したため、利用者数は目標の8割強に留まった。令和4年度は利用者にも感染症対策に協力してもらい開館。利用者数が目標を1割以上も超える結果となった。様々な制限下でも利用の需要は高かった。今後長期休館が発生する事態がある場合でも利用に結び付けられるようサービス等の充実を続けていく。						
達成度	5						

#### 4 活力のある安心・安全な地域社会の形成

住みなれた地域で安心・安全に暮らすことができるまちづくりを健康長寿、環境保全、防災等、幅広い視点で取り組みます。特に、超高齢社会である本町において、高齢者がいきいきと暮らすことが出来る地域社会を形成します。また交流人口増加や地域活性化に向けて、地域資源の活用を検討していきます。

##### 4-1 暮らしやすいまちづくりの推進

地域課題を解決できる人材の育成や環境に配慮したクリーンなまちづくりを推進し、より暮らしやすいまちを目指します。また地域資源を活用し交流の場を創出することで、地域の活性化につなげます。

##### 4-1-1 活力ある地域社会の形成 [年間]

職員研修を行い、地域課題解決に向けた政策の企画立案ができる人材を育成します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
職員による施策の作成数(政策会議等への政策立案件数)	10 件	4 件	22 件	11 件			
進捗率			220.0 %	110.0 %			
主管課評価	令和3・4年度ともに目標値を上回る件数となったが、町全体として職員不足、業務の多様化の影響により、職員の業務負担が増大している状況であり、地域課題解決に向けた政策の企画立案は重要であるが、実際に実施ができる労力が確保され、成果として上がることと結びつける必要がある。						
達成度	4						

##### 4-1-2 ごみ減量化と資源化推進等 [年間]

可燃ごみの分別・排出方法の周知・徹底・生ごみ堆肥化容器の無料貸与等により、資源ごみの回収や生ごみの排出抑制及び資源化を図る施策等を検討・実施します。

ごみ処理問題協議会において町民参画を得ながら、各種ごみ処理施設の整備更新を推進します。

新クリーンセンター建設と現施設跡地活用等による資源化の推進を図るとともに、排出量に応じた適正な処理手数料負担を定めることにより、ごみ減量化や資源化等を推進します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
家庭系ごみ排出量(人・日)	998.00 g	1,016.29 g	1,010.71 g	1,038.65 g			
進捗率			98.7 %	96.1 %			
ごみ総排出量	3,827.72 g	4,006.89 g	3,543.86 g	3,499.18 g			
進捗率			108.0 %	109.4 %			
最終処分量	375.89 g	395.81 g	346.64 g	346.50 g			
進捗率			108.4 %	108.5 %			
主管課評価	令和3年度と令和4年度における廃棄物の処理実績を比較すると、総排出量が44.68 tの減、最終処分量が18.14 tの減という結果になり、目標を達成している。また令和6年度稼働予定の新クリーンセンターでは、ごみ減量化の成果や今後の排出量見通しをもとに、焼却炉の規模を現施設より30%小さくした12 t/日にコンパクト化することを決定した。今後も生ごみの排出抑制及び資源化を促進するため、コンポスト無償貸与制度のPR行い、家庭系ごみの減量に取り組んでいく。						
達成度	3						

##### 4-1-3 末吉多目的交流施設活用事業 [年間]

交流人口の増加、地域の活性化のために、企画展示や地域交流の催しを行うほか、新たな活用を検討し利用者数の増加を図ります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
利用者数	500 人	42 人	143 人	904 人			
進捗率			28.6 %	180.8 %			
主管課評価	令和3年度に廃校利活用担当の地域おこし協力隊との検討により施設利活用方針の再整理を行い「八丈島の自然・文化の魅力発信」「地域コミュニティの活性化」「島内外の人々の探求活動拠点」と新たな方向性を定め、先行的事业として音楽室への楽器等施設導入からの部屋貸し出しを行った。そのほか、住民とのワークショップの開催、キッチンカーなど商用利用者の出展がイベントあたりの来場者数の増に寄与したといえる。当面の目標として八丈島の自然の魅力展示の制作を行い令和7年度に開設することを目指す。						
達成度	5						

#### 4-2 安心して暮らせる地域づくり

島しょ地域で頻発する災害を中心に対策を講じることで、町民が安心して暮らせる地域づくりを推進します。また超高齢社会にある本町の状況を鑑み、介護サービスや関連施設の整備・拡充に取り組むことで、高齢者になってもいきいきと暮らせる地域を形成していきます。

##### 4-2-1 災害に強いまちづくり事業 [年間]

・災害に強いまちづくりを推進するため、避難所の充実や関係機関との連携による災害備蓄品の計画的設置、センサーやドローン等のICTを活用した土砂災害対策を実施します。

・国土強靱化地域計画を作成し、地域防災計画と連動することで、安心・安全な地域づくりを進めます。

・町民に対しては、新たな災害種別のハザードマップを全戸配布することにより防災意識を啓発し、各地域の特性に合わせた災害種別の防災訓練を実施することで、町民の自助・共助の意識向上を図ります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
防災訓練後の個別防災講話件数	5 件	1 件	1 件	2 件			
進捗率			20.0 %	40.0 %			
防災ツールを活用した自助活動実施者	150 名	30 名	50 名	110 名			
進捗率			33.3 %	73.3 %			
主管課評価	コロナ禍の影響により、防災訓練等が小規模開催でしか実施することができない状況下で、目標値としては大きく下回る結果となったが、防災についての意識高揚を図るため、都立八丈高等学校の宿泊避難訓練や老人会などでの講和の実施に注力した。今後も災害に備えるため、機会があれば積極的に講和の場を設け、住民への自助、公助による調和のとれた災害に強いまちづくりを目指していく。						
達成度	3						

##### 4-2-2 介護人材確保事業 [年間]

・介護サービスを支える担い手の維持・確保に向けて、将来的な就労も見据えた介護職員初任者研修を実施します。また、資質の向上のための支援も行います。

・介護が必要になっても住み慣れた地域の中で暮らし続けることができるよう介護基盤の維持を図ります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
研修受講者数	10 名	6 名	12 名	研修なし		研修なし	
進捗率			120.0 %				
介護従事者就業数	171 名	171 名	186 名	154 名			
進捗率			108.8 %	90.1 %			
主管課評価	初任者研修は2年に1回の実施で令和4年度については実施年度ではなく実績はないが、人材不足が深刻である介護施設従事者の確保及び介護の質の向上に繋げるため今後も継続していく。人口の減少とともに介護従事者も大幅に減少しており、少しでも人材を確保するべく、島外での介護人材確保に向けたPR活動をアイランダーに合わせて初めて実施した。また、介護系の人材派遣会社との繋がりを持ち、事業者へ繋げることができたので、今後の人材補充に期待したい。島外からの高齢者等サポートや介護系事業者の島内参入への相談に対応し、島内関係者の協力もあり参入に繋げることができたことは、人材の確保と高齢者等の利便性の向上に繋がった。						
達成度	1						

##### 4-2-3 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり [年間]

・認知症サポーター講座等を開催し認知症の人や高齢者の理解推進のための取組を継続します。

・徘徊高齢者ネットワーク事業や地域支援事業に基づく認知症総合支援等を実施し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進めます。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
認知症サポーター養成数	50 名	52 名	47 名	11 名			
進捗率			94.0 %	22.0 %			
主管課評価	令和4年度は一般住民向けに認知症サポーター養成講座を1回開催した。年に3回予定していたがコロナ禍の影響により参加者が集まりにくいこともあり2回は中止とした。令和4年度の参加者は医療職、認知症介護者が半数。島内で認知症について知る機会が少なく、対応方法や自身の悩みを確認していた。講座を継続的に開催することで、地域全体の認知症高齢者に対する理解の深化と地域による見守りに繋げたい。民間企業の発信している資料やプログラムも活用しながら、小学生（高学年）や中学生を含めた幅広い世代に対する開催や啓発活動を進め認知症への理解を深めていく。						
達成度	1						

#### 4-2-4 高齢者がいきいきと暮らす地域づくり [年間]

- ・高齢者が目標と自主性をもって日常生活を楽しくいきいきと暮らすため、地域の中で自主活動グループを支援します。
- ・高齢者の雇用機会創出や就労支援等、生涯現役促進の観点から関係機関との連携を図ります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
高齢者実態調査におけるほぼ毎日外出する高齢者の割合	50.0 %	34.5 %	46.8 %	54.2 %			
進捗率			93.6 %	108.4 %			
65歳健康寿命(要介護2以上)《男性》	±0 歳	-0.29 歳	81.50 歳	集計中			
〃 東京都平均			83.01 歳				
進捗率			98.2 %				
65歳健康寿命(要介護2以上)《女性》	±0 歳	-0.58 歳	85.98 歳		集計中		
〃 東京都平均			86.19 歳				
進捗率			99.8 %				
シルバー人材センター会員数	274 名	274 名	267 名	259 名			
進捗率			97.4 %	94.5 %			
主管課評価	<p>令和4年度の高齢者実態調査におけるほぼ毎日外出する高齢者の割合は、令和3年度から7.4%増の54.2%となり、目標値に達している。コロナ禍ではあったが、だんだんと通常の生活に近い活動ができていくことが考えられる。老人クラブの活動も感染対策に注意しながらではあるが従来の活動を取り戻しつつある。引き続き老人クラブへのサポートや地域高齢者の相談対応を継続していく。また、外出の機会や地域とのつながりが少ない高齢者へのアプローチを検討する。</p> <p>令和3年分公表値で65歳健康寿命（要介護2以上）の八丈町は男性は81.50歳、都は83.01歳で、八丈町が1.51歳下回っていた。女性は85.98歳、都は86.19歳で、八丈町が0.21歳下回っていた。男性の都との差は、令和2年分公表値より広がっていた。女性は差が縮まっているが、いずれも健康寿命は下回っていたため、介護予防事業や地域活動支援を継続していく必要がある。</p> <p>シルバー人材センターの会員数は259名で8名の減となっている。前年度も7名減となっていたことから減少傾向にある。高齢者の活躍できる場としてシルバー人材センターへの支援を継続していく。</p>						
達成度	2						

#### 4-2-5 八丈町がん検診受診勧奨事業 [年間]

- ・がんの早期発見、早期治療の重要性の周知強化（広報掲載や老人クラブでの呼びかけ、年代別勧奨通知送付等）を行い、町民の健康管理の意識高揚と健康寿命の延伸を図ります。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
精密検査受診率《胃がん》	90.0 %	71.0 %	50.0 %	集計中			
進捗率			55.6 %				
〃 《肺がん》	90.0 %	93.3 %	79.3 %	集計中			
進捗率			88.1 %				
〃 《大腸がん》	90.0 %	78.9 %	67.6 %	集計中			
進捗率			75.1 %				
〃 《乳がん》	90.0 %	85.7 %	100.0 %	集計中			
進捗率			111.1 %				
〃 《子宮頸がん》	90.0 %	100.0 %	66.7 %	集計中			
進捗率			74.1 %				
主管課評価	<p>精密検査対象者が、精密検査を受けた率（精密検査受診率）の目標90%に達したのは、乳がんのみ。子宮頸がんは、精密検査としては計上出来ないが、重症度を見て島外受診が必要かどうかの診断が出来る町立八丈病院婦人科の受診を薦め、受診の未把握者を0人とした。胃がん、大腸がんの受診率（胃50%、大腸67.6%）が低い。胃がんは未把握率が高い為、まずは受診の把握に努める事で精密検査受診率向上につなげる。大腸がんは、自己申告での血便の有無で精密検査者とされている方が精密検査受診しない傾向がある為、血便の有無のみで精密検査を計上しないよう検診業者と協議する。</p>						
達成度	1						

#### 4-2-6 モバイルBU・S・PAの普及促進 [年間]

・購入者の利便を図ると同時に、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、BU・S・PA購入時の接触機会を最小限にするためモバイルBU・S・PAの普及を目指します。

・購入データの分析・有効活用について検討します。

項目	目標値	令和2年度状況	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
モバイルBU・S・PAの発行割合	50.0 %	25.0 %	39.0 %	43.1 %			
進捗率			78.0 %	86.2 %			
主管課評価	温泉の休業によりモバイルBU・S・PAの販売休止の期間はあったが、8月20日の時点で件数は459件、前年比51件増加となっている。令和4年度のダイヤ改正後、乗合の乗客数は増加傾向にあり、今年度も更に乗客数が増加することを見込んでいるため、路線バスおすすめプランと合わせた普及を目指していく。						
達成度	3						